

丹後の自然栽培野菜を使った 「ナチュラル京やさいスープ」等の開発

自然栽培の食味豊かな野菜を生産する！ターン就農者が組織するグループと食料品販売店が連携し、野菜そのもののおいしさが味わえるよう味付けを工夫して調理をしたスープ等を開発、販売する。

農林漁業者

野菜の宅配便 ぼのぼの

〈京丹後市〉

中小企業者

株式会社いともめ

〈京丹後市〉

【連携のねらい】

○農業者

自然栽培による野菜の消費拡大と、食育事業や消費者との交流事業による自然栽培の普及を図りたい。

○中小企業者

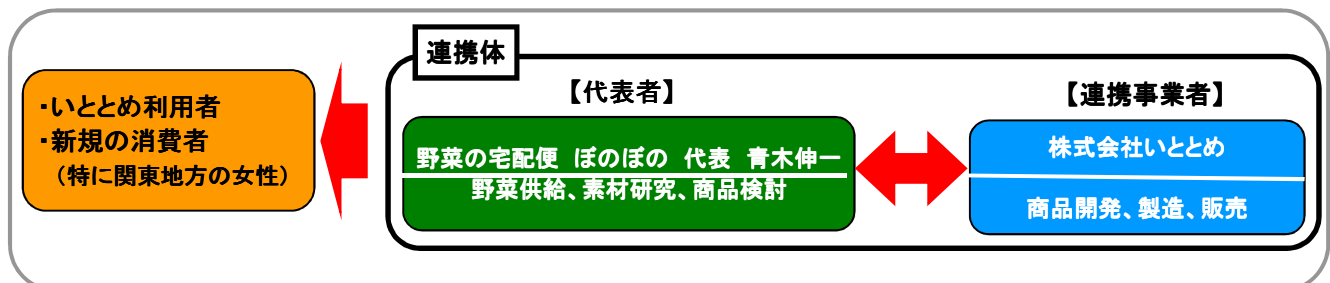
食品加工事業を店舗での小売業に並ぶ或いはそれを越える経営の柱の育成を図りたい。

【他商品との違い】

自然栽培の野菜をそのままの形を残した状態で加工するため、素材そのものを感じ、野菜のおいしさを味わう商品である。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

丹後産無農薬野菜のブランド化と6次産業化への展開

自然栽培野菜の普及に伴い、知名度が上昇し、丹後産無農薬野菜のブランド化が期待できる。また、農作物の加工・販売のノウハウを得ることにより、6次産業化への展開が期待できる。

中小企業者

雇用の拡大と地域活性化の中核施設として展開

食品加工事業の拡大に伴い雇用の増加が図れ、また、農作物の消費拡大により、1次産業を中心とする地域の活性化の中核を担うことが期待できる。

体験型酒造りと酒米作りを通じたファンの獲得と 三方よしの商品開発事業

舞鶴市内唯一の酒蔵と京都市内から1ターンで就農した若手農家が連携し、酒粕利用の循環型農業の実践や米づくりから酒造りまでの一貫体験の提供により、農家、酒蔵、それらの過程に加わり安心して購入する消費者の三方よしの商品開発を図る。

農林漁業者

布施 直樹

〈舞鶴市〉

中小企業者

池田酒造株式会社

〈舞鶴市〉

【連携のねらい】

○農業者

酒米による収入確保や農業体験によるファンの獲得により、舞鶴加佐地区のブランドの向上を図りたい。

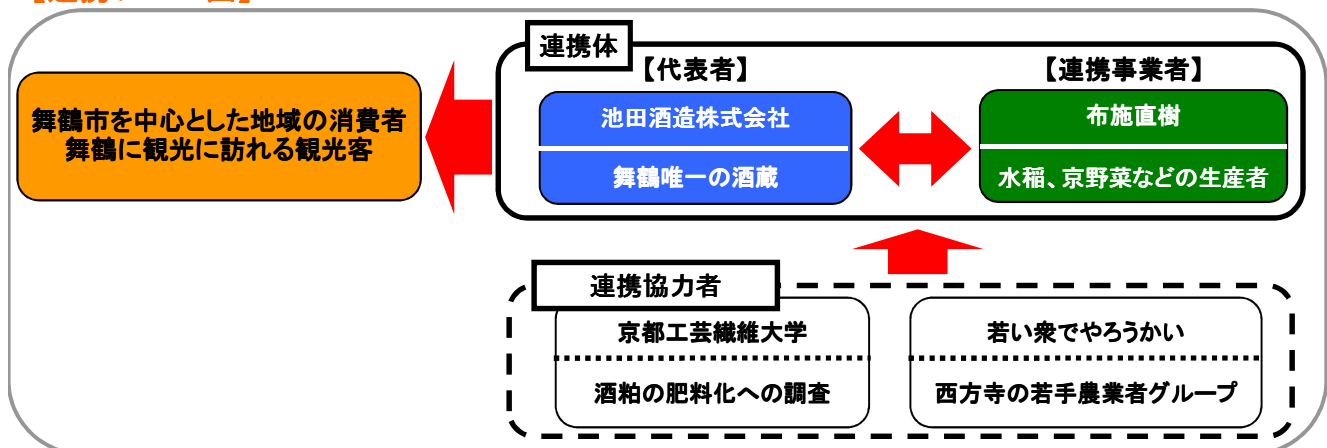
○商工業者

オール舞鶴産の酒造りや酒造り体験によるファンの獲得により、池田酒造の自社ブランドの確立を図りたい。

【他の商品との違い】

消費者が酒米の生産から醸造まで関わった、オール舞鶴の「にぎり酒」であり、一般的な地域おこしの純米吟醸酒などに比べ、リーズナブルに提供できる。

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

魅力ある新規就農モデルを作りたい

安定した売上の確保、冬場の収入確保などにより、舞鶴市加佐地区での新規就農者、定住者を更に確保する。

中小企業者

小さな酒蔵としての強みを活かした自社ブランドの確立

「舞鶴の米＋舞鶴の水＋舞鶴の人＝オール舞鶴の酒」づくり、酒粕の肥料化の循環型のビジネスなどへの取組により、小さいながら特徴のある商品づくりを進める。



美山産有機大豆にこだわった「京・美山ゆば」の新商品開発とブランド化

美山町又林地区で減反対策として白大豆や黒大豆「京都丹波黒」を生産する農事組合と、同じ又林地区のゆば製造業者が連携し、ゆばを使ったスイーツ等の新商品を開発を行い、京都のみならず、東京・大阪市場への販路開拓を目指す。

農林漁業者	又林農事組合	〈南丹市〉
中小企業者	株式会社京・美山ゆばゆう豆	〈南丹市〉

【連携のねらい】

○農業者

地域の新たな産業との結びつきを深めながら、こだわりの地元産大豆の生産を進め、地域農業の維持継続を図る。

○中小企業者

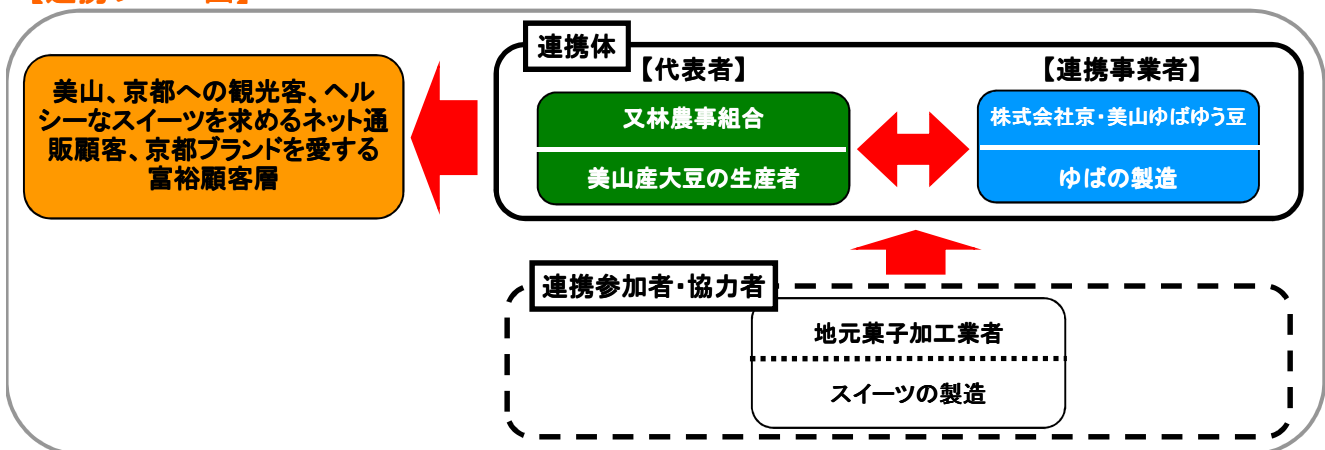
高付加価値の商品によりブランドの確立を目指すと共に、事業拡大に伴い地域への貢献を目指す。

【他の商品との違い】

黒大豆を使ったゆば、独自の製法により「甘み」を最大限に引き出したゆばは他にはない。
これらゆばを使った新しいスイーツを開発する。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

農業でしっかりと支える地域づくりを図る

ゆう豆によるこだわり大豆の安定した買い取りにより、地域農業の基軸ができることとなり、地域の再生、振興に向けた取組を図ることができる。

中小企業者

自社ブランドの確立と新たな事業展開により地域を活性化

こだわりの原材料と独自製法によるゆばの生産に加え、新たな商品展開で「京・美山ゆば」ブランドを確立させる。また、こうした事業拡大に対応する加工会社設立により、地域の活性化も期待できる。

京丹波ブランド農作物規格外再生プロジェクト事業

京丹波町内で加工品づくりのノウハウをもつ鎌谷中もえぎグループが、丹波黒大豆などを生産している農事組合法人京丹波ほたるの里と連携し、品質は良いものの規格外として商品価値が落ちる黒大豆を活用した加工品を開発を図る。

農林漁業者

農事組合法人 京丹波ほたるの里

〈京丹波町〉

中小企業者

鎌谷中もえぎグループ企業組合

〈京丹波町〉

【連携のねらい】

○農業者

特産品にも関わらず規格外で商品価値の落ちる黒大豆を加工品にすることによって、安定した収入を確保したい。

○商工業者

和菓子販売の落ち込む夏場の商品を開発し、年間を通じての所得確保を図りたい。

【他の商品との違い】

生産から収穫、加工まで一貫した地元での生産プロセスの中で、地域が見える真心のこもった手作り和菓子によって付加価値の高い商品となる。

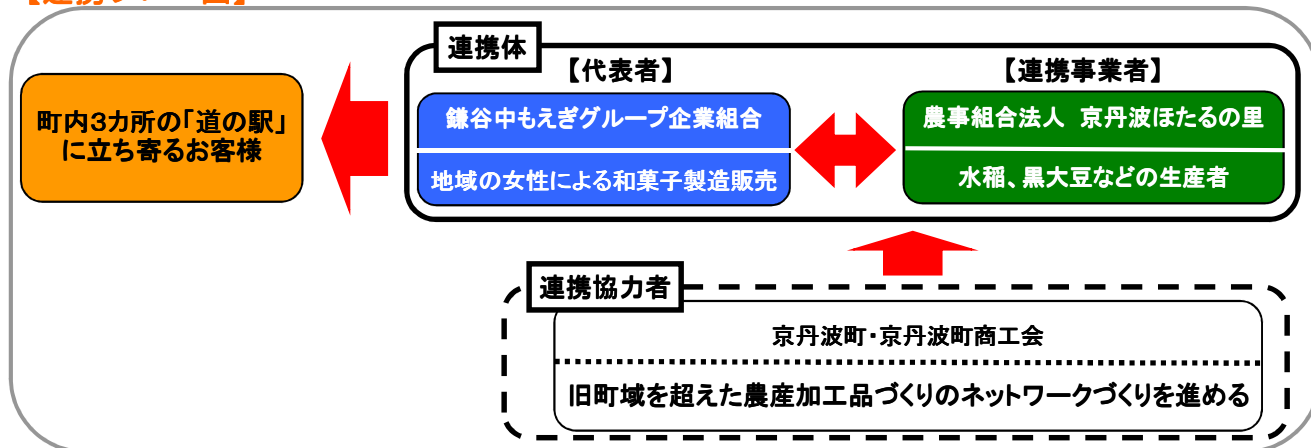


鎌谷中もえぎの
手作り和菓子



京丹波ほたるの里 組合員の皆さん

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

生産物の有効利用を図るノウハウの獲得

旧瑞穂町もえぎによる加工品づくりや販売のノウハウを共有することにより、生産物の有効活用に向けた取組が図れ、みんなの力で地域を守っていくための農業所得安定が期待できる。

中小企業者

より広い地域の人材による安定した企業組合の経営と継承

旧町域を超えた広い地域での人材確保により、新しい夏場の商品開発など経営企画力の広がりによる安定した経営が期待できる。

亀岡で採れた野菜を使った「京野菜スイーツ」 の商品化事業

地元亀岡市で京野菜を生産している農家とお土産物販売業者が連携し、京野菜の持つ「旬」を活かした、亀岡の名産品として観光客にアピールできるジャムやロールケーキ等の季節限定の京野菜スイーツを開発し、自社店舗等で販売を行う。

農林漁業者

農の郷 せき屋 関茂久

〈亀岡市〉

中小企業者

株式会社グロウティ（豆屋黒兵衛）

〈亀岡市〉

【連携のねらい】

○農業者

市場価格の影響を軽減し、出荷されない規格外の農作物を有効利用したい。

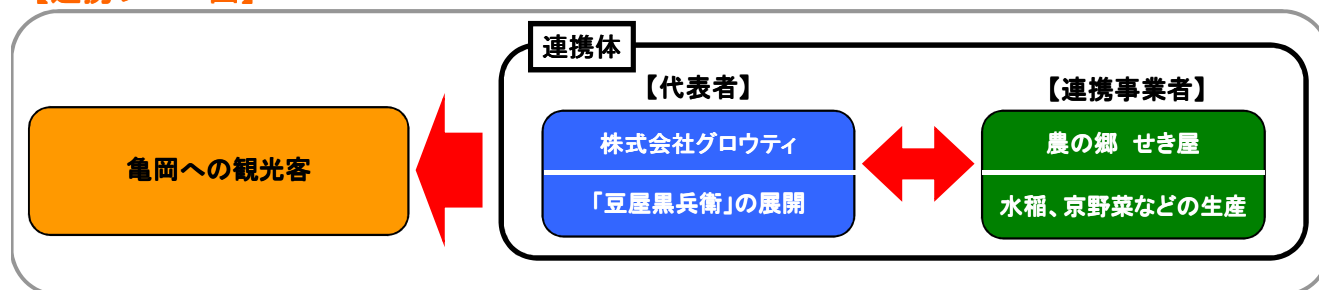
○中小企業者

亀岡を訪れる観光客に対し、地元名産品としてアピールできる商品を開発したい。

【他の商品との違い】

京野菜のジャムは京都市内では販売されているが、亀岡市内では無い。また、京野菜を使ったロールケーキについては新規性が期待できる。

【連携フロー図】



「賀茂ナス」「鹿ヶ谷カボチャ」「ゆず」の京野菜ジャム



【連携による効果】

農林漁業者

規格外品の有効利用と経営の安定化を図る

市場価格に影響されない安定した供給先の確保と、出荷できない規格外品の有効利用により、農業経営の安定化と収益の拡大が見込める。

中小企業者

亀岡をもっとアピールできる魅力のある店舗を展開する

地元亀岡の京野菜を使った漬物の他、ジャム、ロールケーキ等の新しい商品の開発、販売を行うことにより、亀岡を訪れた観光客に対し地元食材を利用した魅力のある店舗を展開し、亀岡をアピールすることができる。

花ハスを活用した「スイーツ」「健康食品」等の開発

水生植物の生産・販売を専門としている農業法人と穀物入りの玄米茶や各種健康茶の製造メーカーのが連携し、花ハスのレンコン以外の未利用部位を活用し、健康志向者を対象にした商品を開発を図る。

農林漁業者

株式会社 杜若園芸

〈城陽市〉

中小企業者

京都グレインシステム株式会社

〈京都市下京区〉

【連携のねらい】

○農 業 者

食品販売への経営拡大により、農業経営の特徴である売上げの季節偏重を平滑化し、安定した人材確保と経営を目指す。

○商工業者

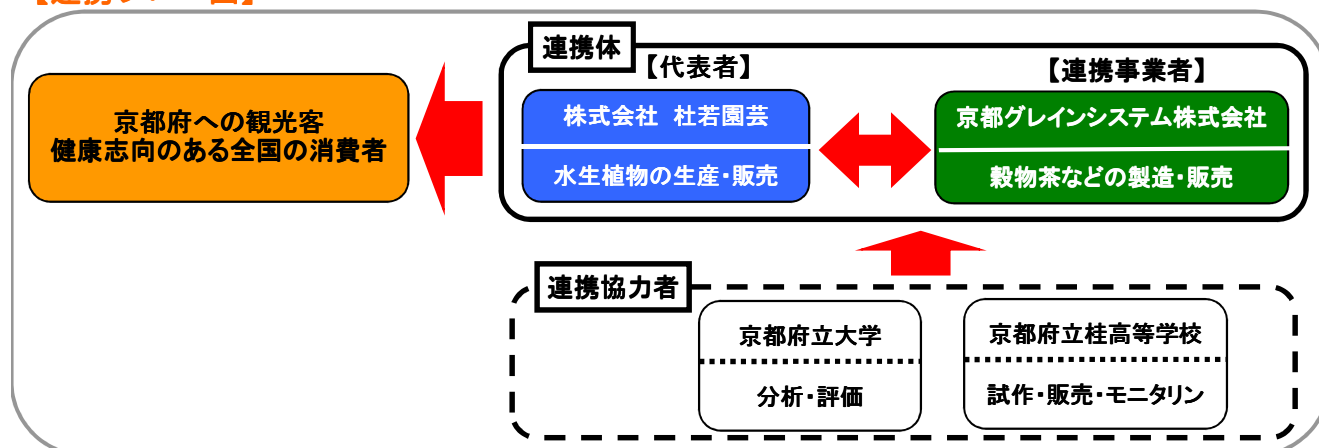
従来扱っていた穀物と異なるものの加工により、技術力の向上と商品の種類の増加につながる。

【他の商品との違い】

地域のお土産程度の花ハス関連加工食品は存在するが、全国的な展開を目指した商品は他にはない。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

自社栽培の花ハスの活用により地域経済を活性化

花ハスの活用による商品開発を可能にし、経営の安定化だけではなく、増産のための農地の有効利用や雇用確保につながり、地域経済への波及効果が期待できる。

中小企業者

新たな商品加工による技術力の向上と展開の広がり

穀物以外のものでの取組により、加工技術力の向上と商品の種類の増による経営の広がりが期待できる。